

第19回2021年度定時支部社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会中部支部は、2021年4月20日(火)、18時35分から19時20分まで、名古屋市東区葵一丁目3番27号名古屋市芸術創造センター 大会議室 において2021年度第19回定時支部社員総会を開催した。

定刻になり、支部長丹羽功が議長席に着き開会を宣し、次の通り定数を超える社員の出席があり、本総会が適法に成立していることを告げ議事に入った。

場 所: 名古屋市芸術創造センター 大会議室

議決権総数: 53、定足数: 27、本日の出席社員総数: 29名(委任25名) <55%>

議長は本総会の「議案書」を提示して「はじめに」を朗読し、第1号議案より逐条的に朗読して提案する旨を告げ、審議を行った。

(第1号議案) 2020年度 事業報告

【1】シリーズ事業 機器展 「プロ音響機器フェア in NAGOYA2020」

2020年4月、コネクト実行委員会が実施する展示会におけるスピーカ試聴会の進行等について依頼があり、本事業の代替として、協力することとしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催者の自粛により中止となった。

【2】音響セミナー等 Web ワークショップ「劇場・音楽堂等からWEB配信の基礎知識」

舞台技術者を目指す学生や舞台技術に関心のある方々、実際に舞台技術に携わっている方々を対象に、知識・技術向上を目的とするWebワークショップを実施、Web配信の基礎知識を学ぶもので、134名の閲覧者であった。質疑応答を「S l i d o」、アンケート「グーグルフォーム」を使用し、終了後は文章で回答をしていただくなどきめ細かく協力をいただけたと共催団体より評価された。

【3】SET名古屋 音響家技能認定講座「ビギナーズコース」

2020年12月10日(木)10時から 名古屋市昭和 문화小劇場

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の健康と安全を第一に考慮し、今年の開催を中止とした。

【4】会員の交流と親睦を図る見学会等 「懇親会の開催」

事業中止、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員の健康と安全を第一に考慮し、今年の開催を中止とした。

【5】出版編集サウンドA&T 特集企画編集等

(1) 機関誌・各支部順次担当「特集企画」

(2) 機関誌 Sound A&T のSEASPLAZA への送稿

【6】会議等

定時支部社員総会、運営委員会、臨時運営委員会、SEAS 中部メールニュース

(第2号議案) 2020年度 決算報告

会計担当役員が欠席のため丹羽支部長が代理で本議案書別紙を提示して報告した。

■ 別紙 付属明細書 2020年度収支計算書(決算)の通り。

(第3号議案) 2020年度 監査報告

吉田廣嗣監査が2020年度の運営委員の職務執行の状況及び議案書の事業報告並びに決算報告書について監査し、書面で提出した「監査報告書」を朗読して報告した。

■ 別紙 中部支部監査機関による「監査報告書」の通り。

議長は、以上の 2 議案について提案した後、質疑及び討議を促し、2 議案をまとめて承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。引き続き第 4 号議案以下の審議を継続した。

〈第 4 号議案〉 2021 年度 中部支部事業計画

【1】 シリーズ事業(1) 「機器展」

「プロ音響機器フェア in NAGOYA2021」の実施

【2】 音響セミナー 舞台音響技術ワークショップの開催

2021 年度事業として社会及び業界情勢を勘案し、検討する。

【3】 会員のための「音響セミナー」「音響サロン」の開催

音響セミナー「Dante 上級技術セミナー」

2021 年度事業として社会及び業界情勢を勘案し、検討する。

【4】 SET名古屋の開催

2021 年度事業として、事業推進委員会は本部事業委員会と共催して次の事業を企画実施する。

【5】 会員相互の交流を促す「見学会」「親睦会」等の開催

2021 年度事業として社会及び業界情勢を勘案し、検討する。

【6】 編集委員会

編集委員会の 2021 年度編集方針は、次の通りとする。

機関紙特集 運営委員会の協議を基に中部支部編集コンセプトに則したテーマを選定する。

機関誌 Sound A&T の SEASPLAZA への送稿

SEAS Plaza、耳袋への投稿について協会参加意識高揚の一つの手段として会員に対し、より積極的な方法で寄稿を呼びかける。

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。引き続き第 5 号議案以下の審議を継続した。

〈第 5 号議案〉 2021 年度 収支予算

別紙の付属明細書 2021 年度収支計算書を提示して報告した。

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。引き続き第 6 号議案以下の審議を継続した。

〈第 6 号議案〉 2021 年度 役員

2021 年度支部役員及び支部推薦理事

運営委員：浅野芳夫、犬塚裕道、内原昭弘、大矢英和、奥山陽一、川島善信、佐藤孝郎

竹渕知博、丹羽 功、松島大樹、溝口修一、武藤美喜

監 査：吉田廣嗣

支部顧問：木枝義雄

支部推薦理事：犬塚裕道

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

以上を以ってすべての議事が終了したので、議長は 19 時 20 分に閉会を宣した。以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長たる支部長が記名する。

2021 年 4 月 20 日

一般社団法人日本音響家協会 中部支部支部長 丹羽 功 印
議事録作成者 大矢 英和

自 2020年04月01日
至 2021年03月31日

一般社団法人 日本音響家協会
中部支部

2020年度 収支計算書(決算)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
項目/科目	金額	項目/科目	金額
経常収入		一般管理費	
支部運営費給付金	265,905	消耗品費	1,540
前年度繰越金	125,655	通信発送費	8,800
租税公課(預り金)	2,557	旅費交通費	0
雑収入	1,002	接待交際費	0
小計	395,119	会議費	2,300
事業収入		借入金返済	0
受講料等	0	支払手数料	220
協賛広告料	0	租税公課(納付金)	2,557
雑収入	0	備品費(消耗品)	0
小計	0	雑費	0
借入金等		小計	15,417
短期借入金	0	事業費	
前年度未収金	0	消耗品費	110
小計	0	通信発送費	24,028
収入合計	395,119	謝金等	27,557
		会場費	0
		旅費交通費	10,000
		接待交際費	40,000
		ケータリング	0
		会議費	2,170
		賃借料	40,000
		印刷費等	3,420
		雑費	0
		小計	107,285
		支出合計	122,702
		期末剰余金	
		3月期残高	272,417
合計	395,119	合計	395,119

本部より前年度剰余金還付額

今年度当初支部会員数	55
今年度期末支部会員数	

2021年4月20日

(一社) 日本音響家協会中部支部

支部長 丹羽功 様

(一社) 日本音響家協会中部支部

監査 吉田廣嗣



監査報告

定款施行細則第59条により、中部支部の2020年度(自2020年4月1日、至2021年3月31日)の事業報告及び決算報告を監査したので下記の通り報告します。

記

1、監査の方法

2020年度の運営委員会、及び各種事業に参加し、2020年度の各種事業報告書、各種報告書及び運営委員会議事録などを閲覧して運営委員の業務執行の状況を監査した。また、2021年4月4日に名古屋芸術創造センター談話室に於いて、会計浅野芳夫氏の提示した会計書類などを精査して2020年度の会計を監査した。

2、業務監査

2020年度特筆すべき事項は、前代未聞のコロナウィルス対応に追われる1年であった。

(1) 事業報告書

運営委員会が、各担当委員より提出された事業報告書を承認しており、各事業別に執行状況と総括の要旨を議案書に記載して適正に事業報告および決算報告がなされている。

(2) 運営委員の業務の執行

支部長を中心に各業務が執行され、順調に遂行されている。

(3) 会議の運営

① 支部社員総会について

支部社員総会の招集手続きは、従来通り「往復はがき」により必要事項を記載し、返信はがきと電磁的方法による出欠の確認と委任状の提出で会員の議決権を保証している。また、会議の議事についても、適正に遂行され、議事録も適切に残している。

② 運営委員会について

各委員各自の主業務の繁忙等により、出席率の低下が気になるところであるが、事務局長が議案書を作成して招集するとともに、電磁的方法による出欠確認と委任手続きを行い、無届欠席の防止が図られている。また、コロナウィルス対策として、Web会議を実施し、会議後は適切に会議報告がなされている。

③ 実行委員会等

実行委員会は委員多忙な中、運営委員会時に内容について諮られることもあったが、大方は電磁的方法により進められている。

3、事業の実施状況

(1) シリーズ事業

① 「プロ音響機器フェア in NAGOYA」

名古屋地区でプロ音響機器展示会を実施しているコネクト実行委員会、及び音響機器メーカー数社より合同開催の打診があったので、2020年度よりコネクト実行委員会の実施するプロ音響機器展に参加し、スピーカーの試聴会を協力実施することになった。ところが、新型コロナウイルスにより中止となったことは、まことに残念であった。次年度開催に期待したい。

② 「機関誌特集の企画編集」

機関紙の特集企画編集は5支部が持ち回り担当している。中部支部は川島編集委員の尽力により毎回ユニークなテーマで企画し続けている。今後も継承されていくことを望む。

(2) 単発事業

① 音響セミナー、Web ワークショップ「劇場・音楽堂等から Web 配信の基礎知識」

コロナ禍の中、大変タイムリーに実施、多くのニーズに応えることのでき、大変評価できるものであった。今後このような Web 事業ニーズは増えていくものと思われる。

② 「SET 名古屋、ビギナーズコース」(SET 実行委員会)

本部事業と共催で12月10日に実施予定であったが、コロナ禍により中止を余儀なくされ、誠に残念であった。次年度以降も継続されていくことが望まれる。

③ 「会員の交流と親睦を図る会」

コロナ禍の中、中止せざるを得なかった事は残念であった。

4、会計監査

毎月の会計報告、会計帳簿、入金伝票類、預金通帳及び手持ち現金を精査したところ、全て適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

以上

自 2021年04月01日
至 2022年03月31日

一般社団法人 日本音響家協会
中部支部

2021年度 収支計算書(予算)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
項目/科目	金額	項目/科目	金額
経常収入		一般管理費	
支部運営費給付金	220,000	消耗品費	5,000
前年度繰越金	140,000	通信発送費	10,000
租税公課(預り金)	5,000	旅費交通費	120,000
雑収入	1,000	接待交際費	0
小計	366,000	会議費	12,000
事業収入		借入金返済	500,000
受講料等	60,000	支払手数料	2,000
協賛広告料	769,000	租税公課(納付金)	5,000
雑収入	1,000	備品費(消耗品)	5,000
小計	830,000	雑費	2,000
借入金等		小計	661,000
短期借入金	500,000	事業費	
前年度未収金	0	消耗品費	10,000
小計	500,000	通信発送費	10,000
収入合計	1,696,000	謝金等	120,000
		会場費	400,000
		旅費交通費	150,000
		接待交際費	4,000
		ケータリング	20,000
		会議費	50,000
		賃借料	150,000
		印刷費等	20,000
		雑費	2,000
		小計	936,000
		支出合計	1,597,000
		予備費	
		予備費	99,000
合計	1,696,000	合計	1,696,000

今年度当初支部会員数 55